

平成 29 年 5 月 22 日

各 位

会社名 シャープ株式会社  
代表者名 取締役社長 戴 正 呉  
(コード番号 6753)

### μ LEDディスプレイ関連事業の合弁事業化に関するお知らせ

当社は、平成29年5月19日、次世代のディスプレイ技術であるμ（マイクロ）LEDディスプレイの開発に関する事業化に向けて、当社が保有する関連特許を同じく同ディスプレイの開発を行う米国のeLux Inc.（以下、「eLux社」といいます）に対して現物出資することにより、同社がCyberNet Venture Capital Corporation（以下、「CyberNet社」といいます。）、Advanced Optoelectronic Technology Inc.（以下、「AOT社」といいます。）及びInnolux Corporation（以下、「Innolux社」といいます。）と共同で推進を図っているμ LEDディスプレイの合弁事業に参画することを主旨とする業務提携契約を締結することについて決定しましたので、お知らせいたします。

#### 1 目的

当社は、昨年8月に発足した新経営体制の下、全ての事業の連携と総合力の強化を図り、事業拡大を通じて様々なステークホルダーの期待に応える方針として“One SHARP”を掲げるとともに、当社の原点であり創業の精神である「誠意と創意」を継承し、当社らしいオリジナリティ溢れる商品やサービスをお客様一人ひとりに提供するとの意味を込めた新コーポレート宣言“Be Original.”を制定し、早期黒字化に向けた構造改革を断行してまいりました。

今後、さらに長期的な視点に立って競争力を強化し、成長軌道への転換を図るべく、様々な検討を進めております。中でも、“新規事業の加速”による事業拡大に向け様々な取り組みを進めております。

かかる中、当社は、かねてより次世代ディスプレイ技術の一つとされるμ LEDディスプレイの製造技術の開発・製品化を進めてまいりました。今般、本ディスプレイの早期の事業化には他の企業との協働により開発・製品化を進めることが最善と判断したことから、μ LEDディスプレイ製造の効率化に関する研究開発を進めてきた技術者が設立したeLux社に対し、当社が保有する関連特許を現物出資することといたしました。本出資により、当社は、eLux社がCyberNet社、AOT社及びInnolux社から出資を受けることにより推進を図っているμ LEDディスプレイの合弁事業に参画し、事業化に向けて取り組んでまいります。

#### 2 eLux社の概要

① 名 称	eLux Inc.
② 所 在 地	160 Greentree Drive, Suite 101, City of Dover, County of Kent, Delaware, 19904, USA
③ 代表者の役職・氏名	President & CEO・J. J. Lee
④ 事 業 内 容	μ LEDディスプレイの開発・製造
⑤ 資 本 金	0USD
⑥ 設 立 年 月 日	2016年10月13日
⑦ 大株主及び持株比率	-
⑧ 上場会社と当該会社との間の関係	
資 本 関 係	当社と当該会社との間には、記載すべき資本関係はありません。
人 的 関 係	当社と当該会社との間には、記載すべき人的関係はありません。
取 引 関 係	当社と当該会社との間には、記載すべき取引関係はありません。
関 連 当 事 者 へ の 該 当 状 況	当該会社は、当社の関連当事者に該当しません。

⑨ 当該会社の最近3年間の経営成績及び財政状態（※1）			
決 算 期	-	-	-
純 資 産	-	-	-
総 資 産	-	-	-
1株当たり純資産	-	-	-
売 上 高	-	-	-
営 業 利 益	-	-	-
経 常 利 益	-	-	-
当 期 純 利 益	-	-	-
1株当たり当期純利益	-	-	-
1株当たり配当金	-	-	-

※1 当該会社は2016年に設立されたものであるため、経営成績及び財政状態については、該当するものではありません。

### 3 他の業務提携の相手方の概要

#### (1) CyberNet社

① 名 称	CyberNet Venture Capital Corporation
② 所 在 地	P.O. Box 957, Offshore Incorporations Centre, Road Town, Tortola, British Virgin Islands
③ 代表者の役職・氏名	Director・Ga-lane Chen
④ 事 業 内 容	Investment
⑤ 資 本 金	19,252,835USD
⑥ 設 立 年 月 日	2000年11月1日
⑦ 大株主及び持株比率	Icreate Investment Limited・100%
⑧ 上場会社と当該会社との間の関係	
資 本 関 係	当該会社は、当社の親会社である鴻海精密工業股份有限公司（以下、「鴻海精密工業」といいます。）が間接的に100%を出資しています。（※1）
人 的 関 係	当社と当該会社との間には、記載すべき人的関係はありません。
取 引 関 係	当社と当該会社との間には、記載すべき取引関係はありません。
関 連 当 事 者 へ の 該 当 状 況	当該会社は、当社の関連当事者に該当します。

⑨ 当該会社の最近3年間の連結経営成績及び連結財政状態（※2）			
決 算 期	2014年12月期	2015年12月期	2016年12月期
純 資 産	-	-	-
総 資 産	-	-	-
1株当たり純資産	-	-	-
売 上 高	-	-	-
営 業 利 益	-	-	-
経 常 利 益	-	-	-
当 期 純 利 益	-	-	-
1株当たり当期純利益	-	-	-
1株当たり配当金	-	-	-

※1 本書面において、鴻海精密工業が当社の親会社に該当することその他本書面における関係会社・関連当事者に関する判断は、日本の法令・会計基準により当社が認識する事実に基づいたものです。日本以外の法令あるいは会計基準における判断を行ったものではありません。

※2 当該会社の財務数値については公表・開示されておりません。

#### (2) AOT社

① 名 称	Advanced Optoelectronic Technology Inc.
② 所 在 地	No.13, Gongye 5th Rd., Hsinchu Industrial Park, Hukou Shiang, Hsinchu Hsien 303, Taiwan, R.O.C.
③ 代表者の役職・氏名	Chairman & CEO・Mr. Ahsi Fang
④ 事 業 内 容	Commercialization of solid state lighting solutions, across both visible and non-visible spectrums

⑤ 資 本 金	1,494,160,000NTD		
⑥ 設 立 年 月 日	1999年10月2日		
⑦ 大株主及び持株比率	台湾日亞化學股份有限公司・9.90%		
⑧ 上場会社と当該会社との間の関係			
資 本 関 係	当社の親会社による一部出資があります。		
人 的 関 係	当社と当該会社との間には、記載すべき人的関係はありません。		
取 引 関 係	当社と当該会社との間には、記載すべき取引関係はありません。		
関 連 当 事 者 へ の 該 当 状 況	当該会社は、当社の関連当事者に該当しません。		
⑨ 当該会社の最近3年間の経営成績及び財政状態			
決 算 期	2014年12月期	2015年12月期	2016年12月期
純 資 産	3,488百万NTD	3,453百万NTD	3,308百万NTD
総 資 産	6,500百万NTD	5,522百万NTD	5,815百万NTD
1株当たり純資産	23.82NTD	23.41NTD	22.22NTD
売 上 高	7,114百万NTD	6,170百万NTD	6,172百万NTD
営 業 利 益	530百万NTD	388百万NTD	103百万NTD
経 常 利 益	530百万NTD	388百万NTD	103百万NTD
当 期 純 利 益	422百万NTD	343百万NTD	59百万NTD
1株当たり当期純利益	3.07NTD	2.38NTD	0.41NTD
1株当たり配当金	1.50NTD	1.50NTD	0.35NTD

### (3) Innolux社

① 名 称	Innolux Corporation		
② 所 在 地	No.160, Kesyue Rd., Chu-Nan Site, Hsinchu Science Park, Chu-Nan 350, Miao-Li County, Taiwan		
③ 代表者の役職・氏名	Chairman & CEO・Jyh-Chau Wang		
④ 事 業 内 容	TFT-LCD		
⑤ 資 本 金	995億NTD		
⑥ 設 立 年 月 日	2003年1月14日		
⑦ 大株主及び持株比率	Chimei Corporation・5.74%		
⑧ 上場会社と当該会社との間の関係			
資 本 関 係	当社の親会社による一部出資があります。		
人 的 関 係	当社と当該会社との間には、記載すべき人的関係はありません。		
取 引 関 係	当社と当該会社との間には、記載すべき取引関係はありません。		
関 連 当 事 者 へ の 該 当 状 況	当該会社は、当社の関連当事者に該当しません。		
⑨ 当該会社の最近3年間の経営成績及び財政状態			
決 算 期	2014年12月期	2015年12月期	2016年12月期
純 資 産	229,171百万NTD	232,264百万NTD	226,006百万NTD
総 資 産	482,516百万NTD	387,442百万NTD	371,479百万NTD
1株当たり純資産	24.44NTD	23.41NTD	22.72NTD
売 上 高	428,661百万NTD	364,132百万NTD	287,089百万NTD
営 業 利 益	28,173百万NTD	22,430百万NTD	6,413百万NTD
経 常 利 益	28,173百万NTD	22,430百万NTD	6,413百万NTD
当 期 純 利 益	21,676百万NTD	10,814百万NTD	1,870百万NTD
1株当たり当期純利益	2.31NTD	1.09NTD	0.19NTD
1株当たり配当金	0.15NTD	0.70NTD	0.20NTD

## 4 出資の概要

### (1) 当社からeLux社へ現物出資する特許の概要

μLEDディスプレイ製造技術に関連する特許21件（帳簿価格0円）

(2) 当社に対して発行されるeLux社株式の概要

種類株式700,000株（発行価額7百万USD。1株当たり10USD）

（優先配当、普通株式または金銭を対価とする取得請求権等を内容とするもの。議決権あり。）

(3) 本業務提携による出資後のeLux社に対する出資割合（議決権ベース）

CyberNet社	45.45%
当社	31.82%
Innolux社	13.64%
AOT社	9.09%

5 日程

- (1) 決定日・契約締結日 2017年 5月19日  
(2) 現物出資の日 2017年10月1日（予定）

6 今後の見通し

当社が取得するeLux社株式の評価額（約6億円）を営業外収益として計上する見込みです。

7 支配株主との取引等に関する事項

(1) 支配株主との取引等の該当性及び少数株主の保護の方策に関する指針への適合状況

本業務提携の相手方であるCyberNet社は、鴻海精密工業の子会社であるため、本件業務提携は、支配株主等との取引に該当します。

支配株主等との取引に関して、当社は、鴻海精密工業との間で相互に独立性を十分に尊重しつつ綿密な連携を保ちながら、成長、発展、業績の向上に努めており、鴻海グループと連携して当社業務の効率化、売上や利益の拡大等を図ることは、少数株主の利益につながるものと認識しております。また、当社は、平成29年1月18日に開示したコーポレート・ガバナンス報告書において、少数株主の保護の方策に関する指針を以下のとおり定めております。

- ・支配株主との取引等については、第三者との取引と同様に、市場価格や当社採算などを勘案して、当該取引等の必要性、合理性、取引条件の妥当性が認められると判断される場合に限り行う。
- ・当社は、当該取引等を開始する前に、会社法等関係諸法令に基づき、利益相反や利害関係の有無等を勘案した適正な手続により、取引等を行うかを決定することとしており、必要に応じて、当社の社外取締役を含む取締役会において決議を行う。
- ・取引等に係る手続の状況については、事後的に確認する。

本合弁事業化は、当社経営資源配分の最適化の観点から、当社はOLED等の他のディスプレイ技術の開発・製品化に注力し、 $\mu$ LEDディスプレイ技術については他の企業との協働により開発・製品化を進めるものであり、少数株主の利益に沿うものです。

(2) 公正性を担保するための措置及び利益相反を回避するための措置に関する事項

当社が出資する特許と引き換えにeLux社が当社に対し発行する株式の発行価額については、当社において第三者の評価を踏まえ、対象特許の将来見込み等を勘案して算定したうえで、相手方と協議して決定しております。また、1株当たりの発行価額は、他の相手方と同額です。

本件は当社の取締役会決議事項には該当しませんが、後記(3)に記載のとおり、社外取締役からの意見表明を受け、また、戴正呉氏以外の代表取締役野村勝明氏が最終的な意思決定を行っております。

(3) 当該取引等が少数株主にとって不利益なものでないことに関する、支配株主と利害関係のない者から入手した意見の概要

平成29年4月20日、支配株主とは利害関係の無い独立役員で当社社外取締役である中矢一也氏及び石田佳久氏の両氏に対し、本業務提携について説明し、「本業務提携により当社は他の技術開発に経営資源を集中でき、また、収益の改善・向上を図ることができる、という点で、本件取引は必要性、合理性、妥当性に欠けるところがなく、少数株主にとって不利益をもたらすものでない」との当社見解に対して、「当社の経営判断の範囲であり、異論がない」旨の意見を表明いただいております。

以 上